



WFDF 2023 世界U-24 アルティメット選手権大会
ウィメン部門 日本代表

大木 香穂 さん #57

体力と知力で 世界と戦う

こんなにもディスクが美しく空を舞うのか――。

大木さんとアルティメットとの出会いは、国際基督教大学に入学後、見学で訪問したフライングディスク部。美しく空を舞うディスクを追いかける姿が格好よく、心を奪われた。同部は、体育を専門と

する大学が多く集まる東京都大学リーグに所属。身体能力・体力で勝る相手に、チームメイトと「コール」と言われる合図を交わしフォーメーションを変えながら得点を重ねていく、そんな緻密な戦略を必要とする部分に魅力を感じた大木さん。現在は、民間

企業で働きながら社会人チーム「東京マーベリックス」に所属し、平日は仕事中心の生活を送りながらも体づくりを

欠かさず、週末はクラブチームで練習を積んでいる。

7月上旬、世界14カ国が参加し、イギリスのノッティンガムで開催された「WFDF 2023 世界U-24 アルティメット選手権大会」のウィメン部門に初の日本代表として出場。主に「ディープ」と呼ばれる得点に絡むポジションで躍動し、予選リーグを全勝で突破し決勝トーナメントへ。準々決勝のオーストラリア戦は、緊張から思わぬ苦戦を強いられるもチーム力で突破。優勝をめざし挑んだ決勝戦の相手は世界ランキング1位のアメリカ。試合時間100分間を戦い抜くも9対14で敗戦。「すごく悔しかったので、いつかリベンジしたい」と話し、来年の世界選手権大会の日本代表入りをめざ



フライングディスクを投げる大木さん

している。

日本ではまだまだマイナー競技のアルティメット。「東京などでは義務教育の一環で取り組んでいる学校があるため、知っている方が多い。子どもたちには、競技の選択肢の一つとして『こういうスポーツもあるんだ』と知ってもらえたらうれしい」と話す。競技を始めて5年。大木さんが身体能力の高い外国人選手を相手に、美しく舞うディスクをキャッチし、金メダルを手にする日が楽しみでならない。

●アルティメット

7人制のチームスポーツで、100m×37mのフィールドでフライングディスクを落とさずにパスをして運び、コート両端のエンドゾーン内でディスクをキャッチすれば得点となるスポーツ。世界大会では、15点先取の得点制で勝敗を決定。他の球技にはないディスクの飛行特性を操る技術や走力、持久力を必要とすることから「究極(Ultimate)」の名前が付けられた。

●おおき かほ

平成12(2000)年生まれ、加悦出身。宮津高校(現宮津天橋高校宮津学舎)を卒業後、国際基督教大学に進学しアルティメットを始める。在学中は、東京都大学リーグ戦準優勝(2022年)に加え、2022 U-23 アルティメット地区選抜対抗戦に関東選抜選手として出場し優勝。現在は、社会人チーム「東京マーベリックス」に所属し、チームの中心選手として活躍中。

欠かさず、週末はクラブチームで練習を積んでいる。

日本ではまだまだマイナー競技のアルティメット。「東京などでは義務教育の一環で取り組んでいる学校があるため、知っている方が多い。子どもたちには、競技の選択肢の一つとして『こういうスポーツもあるんだ』と知ってもらえたらうれしい」と話す。競技を始めて5年。大木さんが身体能力の高い外国人選手を相手に、美しく舞うディスクをキャッチし、金メダルを手にする日が楽しみでならない。

7人制のチームスポーツで、100m×37mのフィールドでフライングディスクを落とさずにパスをして運び、コート両端のエンドゾーン内でディスクをキャッチすれば得点となるスポーツ。世界大会では、15点先取の得点制で勝敗を決定。他の球技にはないディスクの飛行特性を操る技術や走力、持久力を必要とすることから「究極(Ultimate)」の名前が付けられた。

